

令和3年7月吉日

大館商工会議所 御中

大館市に対する政策提言について

大館商工会議所青年部
会長 野田 光平

本年度の大館商工会議所青年部では、コロナ禍により低迷する大館市商工業界の現状の打破、またコロナ禍関係なく今後の大館市の明るい未来を創造することを目的に「コロナウイルス関連」と「コロナウイルス以外」について大館市に対し要望を募りました。

その結果として以下のように提言いたしますので、ご検討の程よろしくお願い申し上げます。

政策提言：コロナウイルス関連

【金銭面での支援について】

事業悪化で苦しんでいる事業所に対しての金銭面での支援について、以下の提言をさせていただきます。

〈1. コロナ関連支援対策の充実〉

- ・収束が見えない中、借入返済に苦勞している事業所が多くある現状を踏まえ、昨年度同様、もしくはそれ以上の支援を希望します。

〈2. 新規事業向け補助金の整備〉

- ・IT化推進のため、従来対象外となっていたソフトウェアやハードウェアの更新・購入にも適用対象を広げてもらいたいと考えます。

〈3. M&Aの支援〉

- ・コロナ禍において拍車がかかる地方の人口減少や後継者不足といった問題を解決するため、地元企業・事務所同士のM&Aに関わるサポート（登記・土業の費用負担等）を行政支援で行って頂けると助かります。

【地域活性化・その他】

地域活性化の施策、各種環境整備について、以下の提言をさせていただきます。

〈1. 病児保育の環境整備〉

- ・女性労働環境の整備のため、また特にコロナとインフルエンザが同時流行した想定に基づいて、市独自のルール設定などを求めます。

〈2. ワクチンパスポートの活用〉

- ・ワクチン接種後の地域経済活性化に向けて、ワクチンパスポートを活用して市内事業所の割引等に利用できないか検討いただきたいと思います。
(接種が叶わない人が不利益になり過ぎないような範囲で)

〈3. 大館市内の「ケーブルテレビ普及率 100%」の推進〉

- ・コロナ・災害時の情報伝達の手段として Web コンテンツが主流となってきているが最も利用世帯数の多いテレビ、その中でもケーブルテレビの普及率を上げることで更なる地域活性化・そしてコロナ禍からの復興を目指したいと考えます。

得られる効果として、以下のように挙げられます。

- ◎地域に密着したイベント情報発信
- ◎防災情報の発信
- ◎地域の活性化・復興
- ◎インターネット環境の整備

〈4. 大館版「サンドボックス」制度の設立〉

- ・エリアを絞って観光客を受け入れる「サンドボックス」の制度を大館市でも導入することで、アフターコロナにおける観光客の獲得が期待できると考えます。

※タイでは7/1より「プーケット・サンドボックス」がスタートしております。

〈5. スポーツ施設の一般向け開放〉

- ・一般市民の免疫力向上を狙い、運動をする機会を増やすためにも、ハチ公ドームや、陸上競技場といった施設を今まで以上に開放してもらいたいと思います。

〈6. イベント開催に関するルール制定〉

- ・市内各種イベントが中止に追い込まれる中、中止という選択肢を減らすためにも、細かいルールを制定し開催の後押しとしていただきたいと思います。

政策提言：コロナウイルス関連以外

【人口増大対策・雇用支援について】

市内の人口減少率が著しく、商圈の維持が大変厳しい現状にあります。人口が5万人を割り込んだ場合は新規事業の立ち上げはおろか、既存事業の維持においても厳しくなる業界が多くなる懸念をしています。

以下の提言をさせていただきます。

〈1. Aターン希望者への支援〉

- ・都会で働く地方出身者の中にも、コロナ禍を経てAターン希望者が増えている現状があります。そこで、市内の企業とオンラインで接点（マッチング機能）を持たせる工夫をすることで、実際にAターン就職の現実味が出てくることと思います。働く場所の選択機会を提供することは非常に重要です。

また建築業者へ空き家のリノベーション補助をするだけでなく、市が空き家を買取りリノベーションし、それをAターン就職者へ安く貸し出すなど、ソフト面・ハード面両方の支援が必要かと考えます。

〈2. 子育て世帯への支援〉

- ・年間の出生数が300人程にまで減少し、深刻な問題となっています。「子育て」は時間とお金を費やします。かわいい自分の子どもを育てるためですから、苦勞をしても育てるのは当たり前のことですが、そこに手厚い支援があることによって子育てをする親、さらにはこれから出産を考える方々にとっては明るい未来を創造することが出来るかと思えます。市の様々な支援があり有り難いが、対象児童の制限などを緩和してほしいです。せつかくの支援内容も知らないで終わると勿体ないので、対象者への周知法や利便性も考慮していただければと考えます。

〈3. 外国人労働者への支援〉

- ・市内でも外国人技能実習生を受け入れている企業が増えてきている為、それに対する支援補助金制度の充実を図ってほしいと考えます。また、移住外国人に対する家賃補助などがあっても良いと思えます。

【誘客促進】

市外からの交流人口を取り込むための施策として、以下の提言をさせていただきます。

〈1. コストコ誘致〉

- ・コストコは郊外に出店することが多く、東北では宮城、山形の南東北部のみです。大館市の立地を活かすことで青森、秋田、岩手の交流人口の取り込みが期待できます。

〈2. 市所有物件のイノベーション・商業施設化〉

- ・秋田市のヤマキウ倉庫の様な若い方向けのイノベーション施設を建設することで、近隣市町村から交流人口の取り込みが期待できます。

【生活】

日常の生活の中での提言をさせていただきます。

〈1. スポ少もしくは小中を対象としたスポーツ支援〉

- ・子どものやりたいスポーツをやらせたくてもやらせる事の出来ない家庭環境の方は沢山あります。お金のかかる用具、練習や試合の都度の送迎などです。更には部活動から離れスポ少化となり、指導者の確保はどの学校、どの種目も大変な状況であることから、市で指導者の確保（謝金支払いなど含め）、送迎システム（遠方の子のみ）など総括的なシステムの構築を求めます。

〈2. 秋田犬の里の再整備〉

- ・飲食スペースの設置や芝生広場を含め多目的広場の再整備をお願いしたいです。公園にあるような遊具を設置するだけでも賑わいが生まれることと思います。様々な策はあるとは思いますが「人を集めるためにはどうすれば良いか」をもう一度真剣に議論していただきたいと考えます。

〈3. 石田ローズガーデンの利活用〉

- ・きれいに整備されたので、市の特産品物産コーナーを設置していただきたいです。

〈4. 子どもの遊び場の拡充〉

- ・近年、公園のルールが厳しく自転車、スケボ、野球の禁止など、子どもたちが公園で自由に遊べない現状があります。園内を区分けして、〇〇コーナーを設置するなどして、もっと自由に遊べるようにしていただきたいです。
- また、子どもが無料で遊べ、かつカフェやショップなど併設している施設があると、市外からの交流人口も取り込めるかと思います。市中心部にそのような施設があれば現状県外や市外へ流出している休日の家族連れ市民の方々のブレーキにもなるかと思っています。

〈5. 市内のwi-fiスポットの環境整備〉

- ・インターネット社会に優しい市となるためにも推進してほしいです。

〈6. プレミアム商品券の継続〉

- ・非常に好調で助かっている事業所も多いです。

〈7. 空き家の利活用〉

- ・市内で空き家を目にする機会が多く、どうにかして利活用できないかと考えます。「空き家×ノマドワーカー」、「空き家×キャンプ」など、需要がありそうなコンテンツとコラボしてモデル事業化できればと思います。

〈8. 秋田犬を飼っている市民の減税〉

- ・市の魅力的なコンテンツである秋田犬を推進するためにも良案かと考えます。多くの市民が秋田犬を飼うことで、「秋田犬の街、大館」がさらに確立されていくと思います。

〈9. 災害に強い街のPR〉

- ・災害に見舞われることがほとんどないことをPRし、企業のバックオフィスやバックアップ拠点として役立つことができます。

〈10. ドローンの配達利用〉

- ・物は制限されますが、十分に利用価値はあると考えます。